



## 学校で学ぶ意味って何だろう…①

コロナ禍の中で、オンラインにより家庭でも授業に参加できるようになりました。また、学習塾やインターネットを活用した学びなど、学び方も多様化してきました。

そのような中、「それでも学校で学ぶ意味は何か」を近頃考えます。

### 助け合い、支え合う気持ちと態度を育てる

授業中も、そのほかの活動中でも、子どもたちが困ったら、すぐ友達に「助けて」と言いやすい雰囲気があることが大事だと考えています。誰かが困っていたら、「助ける」こともできる。授業の内容によって、その関係性は自在に入れ替わります。「分からない」「助けて」と言えることの大切さを知り、教えるときにはどうしたら相手に伝わるのかを試行錯誤します。子どもたちも教師も、支え、支えられながらお互いが成長していきます。



上の写真は、21日(月)の4年生の理科の授業の様子です。欠席のため、前の授業を受けられなかった子どものために、穴澤先生が、授業の導入で前時の実験を行っていました。「今日の授業で困らないように」という、一人を大切にされた教師の思いやりを感じました。

「困っている人がいたら誰かが助ける」という、このようなやりとりは、平和で誰もが住みやすい世の中づくりの学習につながります。国語でも算数でも、理科でもどんな学習でも、授業を通して、子どもたちは平和で誰もが住みやすい世の中づくりの勉強をしています。

### 毎日ブログ更新中! ぜひご覧ください

渡部教頭先生が、子どもたちの学校生活の様子を、磐梯一小的のブログに毎日アップしています。学校便りではお伝えしきれない写真満載のタイムリーな情報です! 教頭先生の「一小的の子どもたちの活躍を伝えたい!」思いを感じていただけたら幸いです。

